



つち や しゅうせい
土屋 秀正

生年月 1988年7月長野県生まれ
最終学歴 2014年東京理科大学院
理工学研究科建築学専攻
修了
業務経歴 2014年(株)大林組 入社
現在、設計本部建築設計部
主任
●担当した主なプロジェクト
2015年 トヨタカローラ南海住之江店
2016年 トヨタカローラ南海羽曳野店
2017年 ホックングループ館林社宅
2018年 ホームットシャロン
2019年 トヨタカローラ南海堺大野芝店
2021年- 中之島未来医療国際拠点

■青年技術者のことば

設計とは、顧客の思いを汲み取り、建築を取り囲む様々な条件・制約を読み解いて、一つの特解としてカタチにする行為であり、カタチにしていく上で重要であるのが「コンセプト」であると考えます。それは、単に設計者のエゴだけで決める分りにくいものではなく、顧客をはじめとする全ての人や社会と共有し、共感してもらえる分かりやすいものであるべきです。カタチにする過程において、顧客、構造・設備設計者、協力業者、施工者等の様々な人とコラボレーションする上でもコンセプトは大切であり、共有することで、ひとりでは思いもよらないアイデアが生まれ、顧客が求める以上の価値が付加されることを経験しました。様々なフェーズで困難に直面することも多々ありますが、計画の芯となるコンセプトを設定することで、向かうべき方向を定める拠り所となります。コンセプトを空間構成、構造計画・設備計画に昇華させ、さらにはディテール等の細部にまでコンセプトを宿らせることを目指していきたいです。

■すいせん者

浅野英治
(株)大林組 設計本部
建築設計部 部長



トヨタカローラ南海堺大野芝店 東側外観 外装材を全てアルミ材に統一することで、一枚の紙から折られた折紙のような形態を表現



北東外観 三角形の多面体で構成したシャープなエッジライン



北東鳥瞰 屋根に折目を入れ、屋根全体の構造強度を向上



屋外展示場(昼景) 16m×75mの大屋根無柱空間



屋外展示場(夜景) 設備機器が現れない紙のような天井面



商談室 外部の天井・床材を内部に連続させ、広がりを出



商談室 60mの長大な空間に商談100席を配置



ど い ま さ ひ ろ
土居 正裕

生年月 1988年12月愛媛県生まれ
最終学歴 2014年大阪大学大学院
工学研究科地球総合工学
専攻修士課程修了

業務経歴 2014年(株)竹中工務店入社
現在、開発計画本部

●担当した主なプロジェクト

2015年～ 岡山市表町三丁目10番11番23番24番地区第一種市街地再開発事業

2018年～ 栄四丁目1番地区都市再生特別地区

2019年～ (仮称)錦三丁目25番街区計画

2021年～ 長崎スタジアムシティプロジェクト

■青年技術者のことば

まちづくりの視点からプロジェクトを実現化するまでには、事業者や地方公共団体等、多くのステークホルダーと連携・合意形成をしながら進めていく必要がある。

私はプロジェクトに関わる中で、人とまちの親密度を高めるまちづくりを提案する【企画の視点】と都市開発の専門性を持ってまちの課題を解決する【推進の視点】を大事にしながら、計画敷地単体にとどまらない、まちの魅力と不動産価値の最大化を目指してきた。特に土地の形状やまちの骨格を変える大規模開発プロジェクトにおいては、経済合理性を優先しすぎた無機質な開発とならないように立地や社会動向を把握しながら、事業コンセプトの立案を行い、そこに住まう人々・訪れる人々に愛着の持てる魅力的な用途企画やプランニングを行うことを常に意識している。

今後も、この【企画】×【推進】の視点を持って、持続的に発展していく地方及び都心のまちづくりに関わっていきたい。

■すいせん者

黒川賢一
(株)竹中工務店 開発計画本部
西日本3グループ長

岡山市表町三丁目10番11番23番24番地区第一種市街地再開発事業

施設コンセプト立案や回遊・動線空間等の計画、都市計画手続きを主導し、岡山市都心1kmスクエア南東角の拠点づくりによる中心市街地再生に貢献



(仮称) 錦三丁目25番街区計画

事業コンセプト立案や特区による事業企画等、栄に新たな価値を創造する施設を提案

